

平成19年度から実施されている全国学力・学習状況調査結果において、当初は全国平均と比べ高い傾向にあった各教科の平均正答率が、近年、同程度もしくは下回る状況となっています。県教育委員会としては、学力の底上げを図る必要があると考え、学力向上に係る取組を進めています。

平成31年度（令和元年度）教科の学力状況（中学校3年生） 公立学校平均正答率（%）

	国語		数学				英語	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
H31(R1)	73	72.8	60	59.8	54	56.0		
	国語A		国語B		数学A		数学B	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
H30	76	76.1	60	61.2	66	66.1	45	46.9
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6

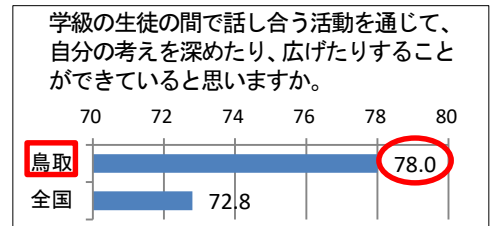
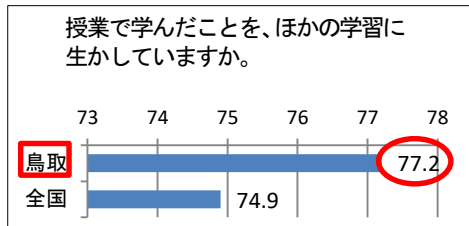
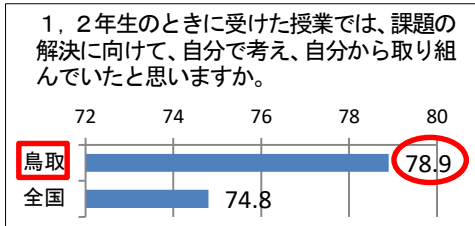
国語、数学は、全国平均と差はみられませんでしたが、英語は全国平均を2.0ポイント下回るという結果となりました。

国語では、「根拠を明確にして自分の考えを持つ」問題、数学では「事柄が成り立つ理由を説明することができる」問題、英語では「与えられた情報に基づいて、説明する英文を書く」問題に課題が見られました。

調査問題には、問題ごとに学習指導の改善・充実に向けたメッセージがあります。

(H27～H30 A:主として「知識」に関する問題、B:主として「活用」に関する問題)の平均正答率(%)

【生徒質問紙調査から】(肯定的回答の割合)



Point

いずれも「主体的、対話的で深い学び」に関連する項目であり、全国平均を上回っています。今回の調査で明らかになった生徒の意識の高さを学力向上に反映させるためには、すべての教科で授業改善が必要です。学校全体で課題を共有し、各教科における授業改善を進めていきましょう。



これからの社会で活躍できる人材を育成するために示された「育成すべき資質・能力」は、現在の高校入試や2020年度から実施される大学入試改革にも反映されています。変化の激しい社会を生きる子どもたちに「既有的知識を使って必要なときに必要なことを学べる力」をつけ、「学び方を知っている子ども」を育てましょう。

「全国学力・学習状況調査」の分析例

文章の展開に即して複数の情報を整理し、内容を捉える力が求められます。

全国学力・学習状況調査を分析する



二「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までの中から全て選びなさい。

- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
- 2 主食、主菜、副菜などが取まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
- 3 ボックスランチやカスクルートなどは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
- 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
- 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

多様な情報に触れる中で自分が興味のある話題に出会い、既有的知識や様々な知識と結び付けて自分の考えを広げる活動が必要です。



高校入試の分析例

平成31年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査問題(国語)では、「資料を読み取り、四字熟語を踏まえて自分の意見を書く問題」が出題されました。

問題5 「ら抜き言葉」について、あのような**資料A**・**資料B**があります。これらを踏まえて、あなたは「ら抜き言葉」の使用について、どのように考えますか。次の【四字熟語】から自分の考えに近いものを一つ選び、あとの【条件】に従って書きなさい。

【四字熟語】ア 臨機応変 イ 十人十色 ウ 永久不滅

【条件】①選んだ【四字熟語】の記号ア～ウを解答欄の()に書くこと。

②二段落構成とし、各段落の内容は次のとおりとする。

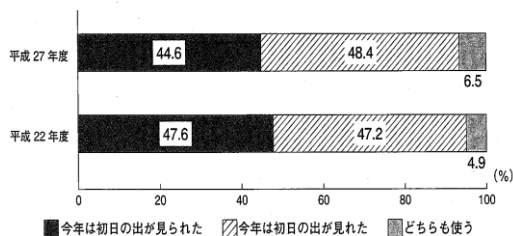
- ・第一段落には、**資料A**・**資料B**から読み取れることを書くこと。どちらか一方の使用でも、両方の使用でもよい。
- ・第二段落には、第一段落の内容を踏まえながら、選んだ【四字熟語】に関連させ、「ら抜き言葉」の使用について、あなたの考えを書くこと

③解答欄の八行以上、十字以内でまとめること。

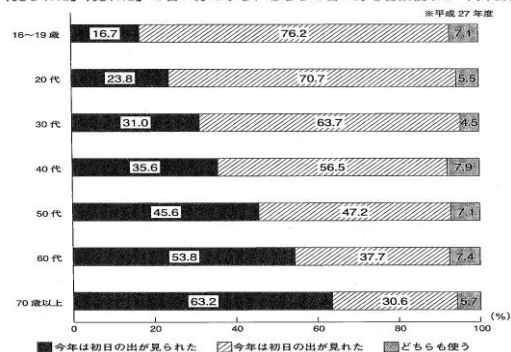
④原稿用紙の正しい使い方に従うこと。

目的に応じて資料から**必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめる力が求められます。**

資料A 「見られた」「見れた」の言い方のうち、どちらの言い方を普段使うか(全体)



資料B 「見られた」「見れた」の言い方のうち、どちらの言い方を普段使うか(年代別)



日頃の学習において、**複数の情報を読み取り、それらを整理・活用して、説得力のある文章を書く**学習活動が必要です。



大学入試改革より(2020年度(現在の高校2年生)から実施)

これからの社会で活躍できる人材の育成に向けて、2020年度(現在の高校2年生)から実施される大学入試改革が進められています。

今まで以上に「知識の丸暗記」では対応できなくなるため、授業で得た**知識をしっかりと活用しながら、学習を進めていくことが大切**となります。

例えば、

- 従来のマーク選択式 ⇒ 複数選択式、記述式の問題
- 知識を持っていれば解ける問題 ⇒ なぜそうなるのかを考えなければ解けない問題

※現行の試験は全てマークシート方式で実施されていますが、新しい試験では、まずは国語と数学で記述式問題が導入されます。すでに公表されている問題例を見ると、全国学力・学習状況調査の調査問題の延長線上にあることがわかります。

これからの社会で活躍できる人材育成に向けて

- 国際化、情報化の急速な進展 → 社会構造も急速に、かつ大きく変革しています。
- 知識基盤社会のなかで、新たな価値を創造していく力を育てることが必要です。
- 社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」をバランスよく育むことが必要です。